

15の春を 泣いてたまるか



倉敷市立福田南中学校
進路だより 第3号
令和6年4月15日

オープンスクールについて（その1）

先日行いました進路希望調査では、多くの生徒が中学校卒業後に、高校進学を希望していました。遠い未来ではなく、1年後の自分の希望です。しかし、願うばかりでその希望が近づいてくるわけではなく、その希望に近づくための取り組みが必要となります。

まずは、高校の情報を得る方法について考えてみると、次の4つが浮かびます。

- 1 高校のパンフレットを読む
- 2 高校のホームページを見る
- 3 実際の高校生に尋ねる
- 4 オープンスクールに参加する

受験生が、オープンスクールに参加することによって得られるメリットは何でしょう？

○通学方法や通学時間、制服、校舎、設備・施設、授業の内容がわかる。

○自分を生かしていけるのかどうかということを具体的に判断できる。

「百聞は一見にしかず」という言葉通り、自分の目で見ることは、何よりも大切なことです。

では、実施する高校が得られるメリットは何でしょう？

○自校の良いところをアピールでき、受験したいという気持ちを高めることができる。

○参加してくる受験生の様子を見ることができる。

礼儀正しく前向きな生徒がいれば、きっと覚えてもらえるはずです。その逆で、失礼な態度や言葉遣い、服装の乱れ、交通マナーの悪さなどのマイナスイメージがあれば、それも覚えられます。

オープンスクールの申し込み方法

多くの高校がインターネットでの申し込みを採用しています。特に私立高校のほとんどで、ミライコンパスというサイトを使って申し込みをします。各家庭のパソコンか、個人のスマホを利用しますが、できれば保護者のスマホをお勧めします。その理由は、受験の際に入学願書や受験票の作成にも、このミライコンパスを使用するので、IDやパスワードの管理が必要になるからです。



また、県立高校の場合は、岡山県電子申請サービスというサイトを使って申し込みをする学校が多かったです。



私立高校では年間複数回実施し、11月以降は模擬テストを行い、入試の傾向がわかる高校もあります。そして、参加することで受験料が優遇されるなど、高校によって様々です。一方、公立高校では1回か2回の実施ですが、その多くが夏休みに集中します。情報を正しくつかみ、計画的に申し込みをしましょう。